



チェコの こどものほん



みなさん、チェコ共和国きょうわこくはどのあたりにある国くにが知しっていますか？チェコ共和国は、ドイツ、ポーランド、オーストリア、スロバキアにかこまれたヨーロッパの真まなかなかあたりに位置いちちしています。

じつは、チェコゆかりの絵本えほん画家がや作家さの本ほんが、日本にほんでたくさん出版しゅっぱんされています。そのなかから、絵本画家ちゅうしんを中心に、いくつかおすすめの本しょうかいを紹介しょうかいします。

ピーター・シス

『三つの金の鍵 魔法のプラハ』(えほん)

柴田 元幸／訳 BL 出版

少年しょうねんが気球ききゅうから降り立おたたしたのは、だれもいない広場ひろば。少年しょうねんは生まれ育うったプラハの家いえにたどりつく。でも鍵はいがなくて入れない。街まちをさまよい、お城しろ、図書館としょかん、時計台とけいだいへ行いって鍵さがを探さがす。ふしぎなモノたちに出会でい、むかしを思おもい出だしながら、家の鍵かぎをあけると…。

- ・『オーシャンワールド』(えほん) ブックローン出版
- ・『コモドっ!』(えほん) 二宮 由紀子／訳 ブックローン出版

- ・『ビーチボール』（えほん） ブックローン出版
- ・『ニッキーとヴィエラ ホロコーストの静かな英雄と救われた少女』
（えほん） 福本 友美子／訳 BL 出版
- ・『マットくんのきょうりゅうだ!』（えほん）
BL 出版



ヘレナ・ズマトリーコバー

『りんごのき』（えほん）

イトゥアルト・ハチカ／さく うちだ りさこ／やく 福音館書店
あるゆきのひ、マルチンは にわに ぼうを みつけました。おかあさんが りんごのきだと おしえてくれました。おひさまが、ぽかぽか じめんをあたため はるがやってくると、りんごのきにはながさきました。マルチンは りんごのきに みずをやったり、つよいかぜにハラハラしたり。そして とうとう あかいりんごが できました。

- ・『かあさんねずみがおかゆをつくった チェコのわらべうた』（えほん）
井出 弘子／訳 福音館書店
- ・『ぼくのかぞく』（えほん）
ロール／さく 千野 栄一／やく 福音館書店
- ・『マルチンとナイフ』（えほん）
イトゥアルト・ハチカ／さく うちだ りさこ／やく 福音館書店
- ・『ぼくだってできるさ!』（989） イトゥアルト・ハチカ／さく
むらかみ けんた／やく 富山房インターナショナル
- ・『ホンジークのたび』（989）
ボフミル・ジール／ぶん 井出 弘子／やく 童心社

イジー・トウルンカ

『**ほたるの子 ミオ**』(えほん) ホリガー／文 メルヘン社

ミオは、とうみんからさめて はるがくるのを たのしみにしています。おとうさんといっしょに、はじめて ランタンをもって そらをとぶことができるのです。それは すばらしい よるでした。あるひ、ミオは おとうさんの いいつけをやぶり ひとりで こっそりとびだしました。ところが、こわいめに あったり、うちがわからなくなったり…。でも、すてきな であいも ありました。

・『おじいさんのおくりもの』(えほん)

ヤン・アルダ／さく やすかわ あやこ／やく ほるぷ出版

・『おとぎばなしをしましょう』(えほん) フランシエイク・フルビーン／ぶん
きむら ゆうこ／やく プチグラパブリッシング

・『こぐまのミーシャ、サーカスへ行く』(えほん) ヨゼフ・メンツェル／文
平野 清美／訳 平凡社



クヴィエタ・パツオウスカー

『**小さな花の王様**』(えほん) 川本 三郎／訳 太平社

むかし むかし、ひとりの小さな王様は、小さなお城にすみ、花をそだてていました。ある日、王様はなにかものたりないと思い、お姫様をさがす旅にでました。晴れの日も、雨の日も、夜になってもさがしていると、チューリップの花のなかから、やわらかい小さな声がきこえてきます。ずっとさがしていたお姫様でしょうか。

・『あか、あお、きいろ、色^{いろ}いろいろ』(えほん)

酒寄 進一／訳 ほるぷ出版

・『紙^{かみ}の町^{まち}のおはなし』(えほん) ゆうき まさこ／訳 小学館

・『ふしぎないきもの』(えほん) アネリス・シュヴァルツ／ぶん

いけうち おさむ／やく ほるぷ出版

・『まるさんかくしかく かたちあそびのほん』(えほん)

池田 香代子／訳 ほるぷ出版

ズデネック・ミレル



『もぐらとずぼん』(えほん)

イト^ドアルト[・]ハ[・]チシカ／ぶん うちだ りさこ／やく 福音館書店

おおきな ほけつとのついた あおいずぼんを みかけたもぐらは、じぶんも そのずぼんが ほしくてたまらなくなりました。そしてじぶんでつくろうと、あまで いとをつくるところから はじめます。このとり、はりねずみ、くも、あり、えびがに、よしきりなど、たくさんのいきものがきょうりよくして、すてきな あおいずぼんが できあがりました。

・『しりたがりやのこいぬとおひさま』(えほん)

イバ[・]ハルツィーコバー／さく ちの えいいち／やく 偕成社

・『しりたがりやのこいぬとたまご』(えほん)

イバ[・]ハルツィーコバー／さく ちの えいいち／やく 偕成社

・『せかいでいちばんおかねもちのすずめ』(えほん)

イト^ドアルト[・]ハ[・]チシカ／ぶん きむら ゆうこ／やく
プチグラパブリッシング

- ・『ひよことむぎばたけ』（えほん）
フランチエウ・フルビーン／ぶん ちの えいいち／やく 偕成社
- ・『もぐらくん、おはよう』（えほん）
ヨゼフ・ブルクホル／作 木村 有子／訳 偕成社
- ・『もぐらくんとパラソル』（えほん）
ルナ・ドスコロヴァー／作 木村 有子／訳 偕成社
- ・『ゆかいなきかんしゃ』（えほん）
ヤン・チャレック／ぶん きむら ゆうこ／やく ひさかたチャイルド

ヨゼフ・ラダ



『きつねものがたり』（989）

内田 莉莎子／やく 福音館書店

森もりばんに ひろわこれた子ぎつね。本ほんが大だいすきな森もりばんのむすめは、まい日にち 子ぎつねに 本ほんをよんであげました。子ぎつねは、ものがたりにでてくる きつねのように、かしくくずるくなろうと 決心けっしんしました。ある日ひ、首輪くびわが ゆるきくなっていることに 気づきいた子ぎつねは、森を にげだしました。

- ・『おおきくなったら チェコのわらべうた』（えほん）
内田 莉莎子／やく 福音館書店
- ・『きつねがはしる チェコのわらべうた』（えほん）
木村 有子／編訳 岩波書店
- ・『きつねとおおかみ イソップものがたりよりー28 のぐうわ』（えほん）
ヤン・ウラーナ／ぶん かなやま みさこ／やく ほるぷ出版

・『どうぶつ だいすき』（えほん）

イジー・ジャーチク／文 飯島 周／訳 平凡社

・『おばけとかつぱ』（989）

岡野 裕・内田 莉莎子／やく 福音館書店

・『黒^{くろ}ねこミケシユのぼうけん』（989）

小野田 澄子／訳 岩波書店



ヨゼフ・チャペック

『こいぬとこねこは ^{ゆかい なかま} 愉快な仲間

なかよしのふたりが **どんなおもしろいことをしたか**』（989）

いぬい とみこ・井出 弘子／訳 河出書房新社

こいぬとこねこは ^{だい なかよ もり なか ちい} 大の仲良し。森の中の小さなうちで、いっしょにすんでいます。人間^{にんげん}のように生活^{せいかつ}したいけど、なかなかうまくいきません。床^{ゆか}をそうじするのも、手紙^{てがみ}を書くのもおおさわぎ。

ケーキ^やを焼いたら、それぞれがすきなものを入れて、自動車^{い じどうしゃ}のタイヤ^{おお}ぐらいの大きさに。ときにはけんかもするけれど、ふたりはなかよくくらしています。

・『^{あお そら}青い空』（えほん）

フランシエク・ガルビーン／詩 井出 弘子／訳 偕成社

・『さあ、みんなおはなししよう』（989）

井出 弘子／訳 童心社

・『ひいおじいさんと盗賊^{とうぞく}の話^{はなし}』（989）

関沢 明子／訳 フェリシモ出版

カレル・チャペック

『長い長いお医者さんの話』(989)

中野 好夫／訳 岩波書店

7つの童話の短編集。「長い長いお医者さんの話」は、ウメの実をのどにつまらせた魔法使いのために、弟子が次々お医者さんをつれてきますが、どのお医者さんも話が長くて…。「カッパの話」は、日本だけじゃないチェコにもいるカッパの話。チェコのカッパは、商売もするし、水泳選手にもなるのです。

・『五つのパン チャペック ショートコレクション』(989)

小野 裕康／訳 理論社

・『こどものための世界名作童話 21 ソリマンのおひめさま』(989)

千野 栄一／やく 集英社

・『郵便屋さんの話』(989) 関沢 明子／訳 フェリシモ出版

チェコのむかしばなし

『十二月の月たち』(えほん)

ボジエナ・ニムツォヴァー／再話 出久根 育／文・絵 偕成社
あるところに、おかあさんとふたりのむすめがすんでいました。おかあさんは、まむすめのマルシュカに いじわるばかり。1月のある日、おかあさんは、山でスミレをつんでくるよう 言いつけます。マルシュカが山のなかを さまよっていると、たき火をかこむ 12人の男たちに であいました。この男たちは 十二月でした。

•『ヴォドニークの水の館』(えほん)
みず やかた

まき あつこ／文 降矢 なな／絵 BL出版

•『金色の髪のお姫さま チェコの昔話集』(989)
きんいろ かみ ひめ むかしばなししゅう

カレル・ヤロミール・エルバン／文 木村 有子／訳 岩波書店

•『火の鳥ときつねのリシカ チェコの昔話』(989)
ひ とり むかしばなし

木村 有子／編訳 岩波書店



チェコ語のほん

ちゅうおうとしょかん しつ やく さつ
中央図書館のこども室には、チェコ語のほんが約40冊あります。

にほんごやく よくうら
まずは、日本語訳されている本と、読み比べてみませんか。

•『Jak zvířata spí』 Jiří Dvořák／文 Baobab

•『どうぶつたちがねむるとき』(えほん) イジー・ドヴオジャーク／作 偕成社

•『Můj medvěd Flóra』 Daisy Mrázková／文・絵 Baobab

•『ぼくのくまくん フローラ』(えほん) デイジー・ムラーズコヴァ／作・絵 偕成社

•『Zahrada』 Jiří Trnka／文・絵 Studio Trnka

•『ふしぎな庭』(989) イジー・トルカ／作 ほるぷ出版

•『Říkali mi Leni』 Zdenka Bezděková／作 Albatros Media

•『レコとよばれたわたし』(989)

ステニカ・ハズヂェコヴァ／作 らくだ出版



さかいしりつとしょかん れいわねんがつはっこう
堺市立図書館 令和7年3月発行

ひょうき よがな さくひんほんぶん じゆん
(表記、読み仮名は、作品本文の表記に準じています)

うし すうじ ぶんるいばんごう あらわ
(タイトルの後ろの数字は、分類番号を表しています)

